

JISA 小中高校向け情報教育懇談会

NRIグループのCSR活動と学校向け施策の概要

2011年1月19日

野村総合研究所
コーポレートコミュニケーション部 CSR推進室
横山喜一郎



内容

1. NRIグループのCSR活動

2. NRIらしい社会貢献

3. 人づくり Innovation! 2015

4. 出前授業

5. 学生小論文コンテスト2009

6. 「教員の民間企業研修」の受入れ

会社概要

- 社名： 野村総合研究所
Nomura Research Institute, Ltd.
- 本社所在地： 東京都千代田区丸の内1-6-5 丸の内北口ビル
- 創業日： 1965年4月1日
- 資本金： 186億円
- 代表者： 代表取締役社長 嶋本正
- 従業員数： 5,314名(NRIグループ 6,263名)2010年3月31日現在
- 売上高： 3,386億円(2010年3月期 連結)
- 事業概要： コンサルティング、金融ITソリューション、産業ITソリューション、IT基盤サービス
- 企業理念： 未来創発 - Dream up the future. -
 - ・社会に対して:新しい社会のパラダイムを洞察し、その実現を担う
 - ・お客様に対して:お客様の信頼を得て、お客様とともに栄える

1.NRIグループのCSR活動

CSR活動の経緯

- 2004 ● CSR推進室発足(10月)
-
- 2005 ● CSR報告書発行
● 「2010年、日本の未来を提案します。」プロジェクト
-
- 2006 ● 3つのCSR活動を制定
(「攻めのCSR」「守りのCSR」「NRIらしい社会貢献」)
● 第一回学生小論文コンテスト開催
-
- 2007 ● CSRホームページ開設
● CSRプロモーターズ・ネットワーク立ち上げ
● 事業所(木場、横浜)周辺清掃活動開始
-
- 2008 ● TABLE FOR TWOランチ開始
-
- 2009 ● CSR方針制定(3つのCSR活動の精緻化)
-
- 2010 ● 人づくり施策本格稼働(会社訪問受入、出前授業、コンサル1日体験など)
● 未来創発センター設立(4月)
● 「新成長戦略への提言Ⅰ・Ⅱ」(5月、10月)
● グリーンスタイル活動開始(6月)

(●CSRマネジメント ●社会貢献活動 ●社会提言活動)

1.NRIグループのCSR活動

NRIグループの3つのCSR活動



3つのCSR活動

■ 攻めのCSR

本業を通じて社会への責任を果たす

- ・事業活動
- ・研究開発

■ 守りのCSR

社会との信頼関係を築く

- ・コーポレート・ガバナンス/内部統制
- ・リスクマネジメント/危機管理
- ・コンプライアンス
- ・品質管理
- ・情報セキュリティ管理
- ・知的財産権管理
- ・環境への配慮

■ NRIらしい社会貢献

心にとどく社会貢献をめざす

- ・情報発信
- ・人づくり
- ・社会づくり

2.NRIらしい社会貢献 社会貢献活動の基本フレーム

NRIらしい社会貢献

本業で得た知見、ノウハウをもとに
心にとどく社会貢献をめざす

■情報発信

- ・政策提言、社会提言
- ・出版活動
- ・未来創発フォーラム



■人づくり

- ・学生小論文コンテスト
- ・出前授業
- ・大学での講座の提供、
講師の派遣
- ・野村マネジメントスクール



■社会づくり

- ・ITと新社会デザイン
フォーラム



2.NRIらしい社会貢献 情報発信(政策提言、出版活動)

●2010年4月に未来創発センターを創設。
5月の「新成長戦略への提言」に引き続き、
10月に「新成長戦略への提言II」で5つの
政策提言

●独自のテーマ設定に基づく調査・研究活動
の成果は、単行本や定期刊行物として、
広く公開している



報道機関に向け、提言の概要
をレクチャー



提言は冊子にまとめ広く配布



2.NRIらしい社会貢献 情報発信(未来創発フォーラム)

- 未来社会に向けたNRIの提言を社会に広く知っていただくことを目的に、2003年から毎年開催。2010年は東京・名古屋の2会場で5,000名を超える来場者を迎えた

未来創発フォーラム2010 [東京] 「変革への突破力」

【第1部】講演(以下、敬称略)

「日本経済再生への処方箋」

NRIチーフエコノミスト リチャード・クー

「社会インフラの再設計が成長の鍵を握る」

NRI未来創発センター 神尾文彦

【第2部】パネルディスカッション

「活力ある日本を創るために」

西水美恵子(元世界銀行副総裁)

坂茂(建築家)

上田泰己(理化学研究所 研究プロジェクトリーダー)

福田隆之(NRI主任研究員)

池上彰(ジャーナリスト)



パネルディスカッション(東京)



会場を埋め尽くした来場者(東京)

2.NRIらしい社会貢献活動 人づくり(学生小論文コンテスト)

●次世代を担う若者に、将来の日本社会について考えてもらう機会を提供しようと
2006年からスタート。2010年は899論文の応募があった

	募集テーマ	
	大学生・留学生	高校生
2006	ユビキタスネット時代のITと人間の関わり	モチベーションクライシス
2007	日本が世界と共生するには	日本から見た世界 世界から見た日本
2008	日本の「第三の開国」に向けて	2015年の日本人像・家族像
2009	ITを活用した日本発ビジネス	日本はコレで世界一になる！
2010	日本が世界のためにできること	世界のなかで日本の魅力を高めるには



論文発表会



表彰式



懇親会



受賞論文は冊子にまとめて紹介

2.NRIらしい社会貢献

人づくり(出前授業、大学での講座の提供、講師の派遣)

- 2010年は、高校生、大学(院)生を対象に、企業訪問の受入れ、出前授業、コンサル1日体験プログラムなどを通じて1,000名以上の学生の人づくりを支援



企業訪問の受入れ



出前授業



東工大での連携講座

- 国内29大学、のべ76名の社員が大学の教壇に立ち、講義を行なう(2009年度)
- 2007年4月、北京市 清華大学と「清華大学・野村総研中国研究センター」を設立
日中両政府・企業への提言活動、人材開発支援を実施



北京清華大で「未来創発修学金」式典

2.NRIらしい社会貢献 社会づくり

●情報サービス産業の活性化、今後の産業としての 魅力向上をめざし、NTTデータ様と共同で フォーラムを企画、開催

ITと新社会デザインフォーラム2010

「日本が変わる。ITが創る。」

日時:2010年2月26日 13:30~16:45

場所:品川インターシティホール

【第1部】講演（以下、敬称略）

①「ITと変貌する社会インフラ」

NRI コンサルティング事業本部副本部長

執行役員 三浦 智康

②「新たなIT人材像とITサービス産業の変革を目指して」

NTTデータ経営研究所 情報戦略コンサルティング本部長

パートナー 三谷 慶一郎

【第2部】対談

「ITサービス産業の未来に向けて」

NTTデータ 取締役社長 山下 徹

NRI 取締役会長兼社長(当時) 藤沼 彰久



NTTデータ山下社長(左)とNRI藤沼会長(右)

3.人づくり Innovation! 2015

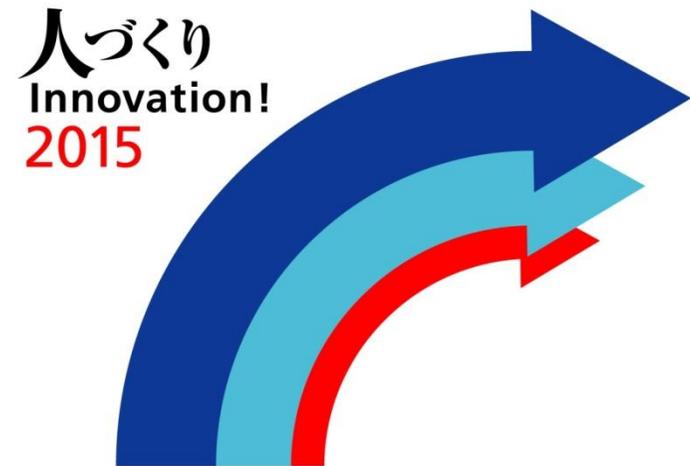
●2010年度より、社会貢献活動の一環として「人づくり」支援施策を強化

《人づくり Innovation! 2015のねらい》

グローバル社会が進展するなか、国際競争はますます激しさを増していますが、少資源国である我が国において、**次代を担う人材の育成はこれまで以上に重要性を増しています。**

これからの社会においては、**自らの力で、正解のない課題に対して答えを見つけ出し、解決に向け具体的に行動できる人材が求められています。**

野村総合研究所(NRI)は、「未来創発」という企業理念のもと、事業活動で培ったノウハウを、NRIらしい社会貢献活動のひとつとして、**次世代社会を担う若者や経営者の育成(人づくり)支援に生かしています。**



探る・伸ばす・導く、を創る。

人づくり施策のロゴ

3.人づくり Innovation! 2015 人づくり施策の取り組み状況

●主な人づくり施策(2010年4月～12月実績、一部除く)

- ・出前授業: 5校(848名)
- ・学生小論文コンテスト: 応募総数899論文
- ・コンサル1日体験プログラム: 72名(4校)
- ・チーム・ビルディングプログラム: 13名(3校)
- ・企業訪問受入れ: 201名(大学3、高校3、中学1)
- ・教員の研修受け入れ: 9名(高校1、中学2、小学3、特別支援3)
- ・大学への講座提供、講師派遣 (29大学、76名の社員が講師※1)
- ・野村マネジメントスクール (5,226名が講座終了※2)
- ・その他(清華大学での日本語プレゼン大会実施など)

※1 2009年度実績

※2 野村マネジメントスクールは1981年に開校。上記実績は開校以来、2009年度までの累積



野村マネジメントスクールでの講義



NRI北京を訪問した学生と討議



企業訪問で来社した高校生

4.出前授業

4-1.背景とねらい

SE社員の声(特に若手)

- ・NRIの事業が社会から理解されていない
- ・企業理念と仕事(業務)、仕事と社会との関連性が見出しにくい
- ・社外の人との交流範囲が限定的(人前で話をする機会が少ない)

社会からの要請

- ・子供たちの「生きる力」の育成
- ・学校での学びと社会との関連性を知る
機会の創出

⇒キャリア教育支援に対するニーズの高まり

SE社員による

出前授業の実施

- NRIの仕事を簡潔に分かりやすく説明する機会
- 自らの仕事の社会的価値に気付く機会(仕事への誇りの醸成)
- 直接的な社会貢献の機会

- 情報サービス産業、SEという職種を知る機会
- 中長期的な視点から進路について考える機会
- 学習意欲向上の機会

4-2.出前授業を支えるツール

●プレゼンフォーマット

①NRIの仕事（資料用意）

- ・コンサルティングサービス
- ・ITソリューションサービス

②私の仕事（資料用意）

- ・情報システムとは
- ・SEの仕事とは
- ・情報システム開発を支える人々

③私の学生時代（本人作成）

- ・高校時代の思い出(受験、部活、バイト…)
- ・進路決定、大学生活
- ・NRIに入社した経緯



「社会の仕組みをつくり、未来をつくる」
～ 野村総合研究所の仕事、SEの仕事 ～

プレゼン
タイトル

「出前授業」のフロー

(学校からの依頼)

- ↓
- ・講師候補者の抽出
なるべく、OB/OGを選ぶ
- ↓
- ・本人に打診、承諾
- ↓
- ・オリエンテーション
- ↓
- ・担当者による資料作成
(プレゼンフォーマットを活用)
- ↓
- ・社内リハーサル
- ↓
- ・出前授業
- ↓
- ・フォローアップ

4-3.NRIの仕事

●コンサルティングサービス

コンサルタントとは…

・例えば、会社、自治体にとってのお医者さん

⇒企業や自治体が抱える課題(問題)を診断し、解決のお手伝いをしています。

(例)

・自動車会社の海外進出をお手伝いする

・地域の経済、産業の活性化のための計画づくりをお手伝いする

・

●ITソリューションサービス

システムエンジニア(SE)とは…

・例えば、情報システムをつくる建築士、大工さん

⇒情報システムをつくって、社会がスムーズに動くようお手伝いをしています。

(例)

・銀行、コンビニなど、全国に約15,000台あるATMで1,000種類以上のカードが使える

・全国に約一万数千店舗あるセブン-イレブンのサービスを24時間365日支えている

4-4.私の仕事 情報システムとは

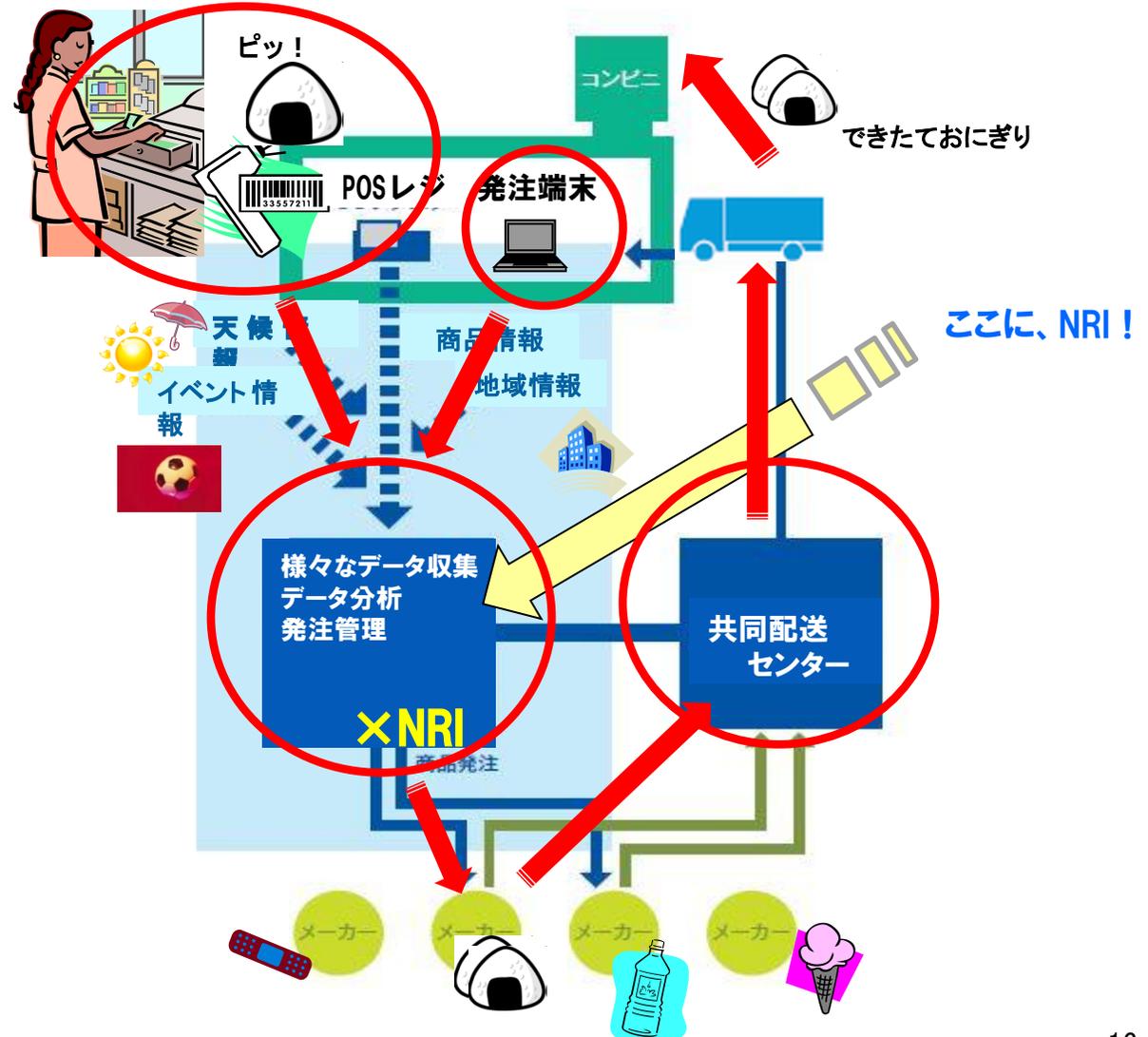
●コンビニにいつでも
「出来たてのおにぎり」が
あるのは、なぜ？



●情報システムが支えています。
1日24時間、365日休まず
稼働しています。



●商品の在庫管理だけでなく、
きめ細かな商品開発なども
実現

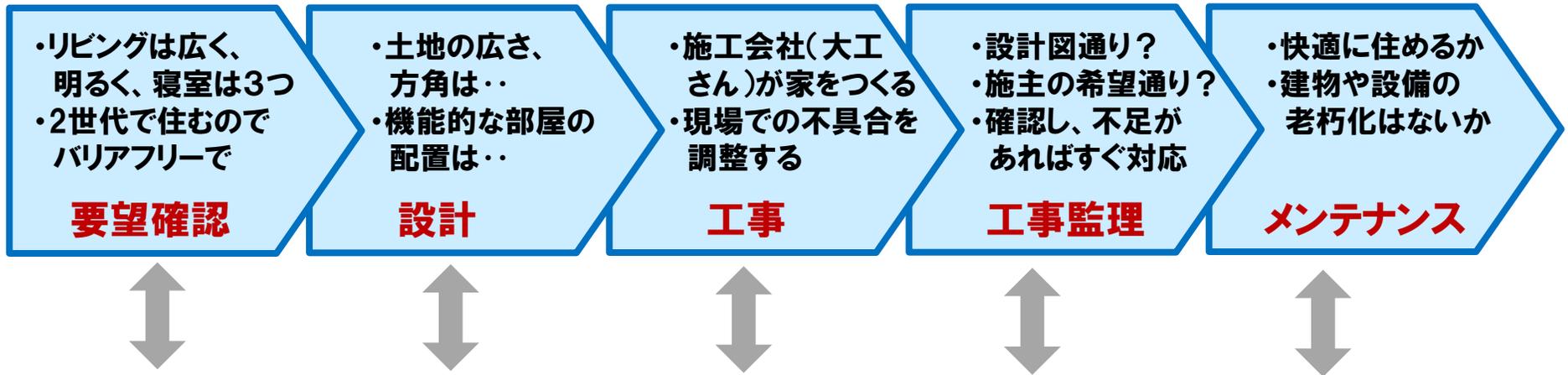


4-4.私の仕事

SE(システムエンジニア)の仕事とは

●SEの仕事(情報システム開発)は、建築士や大工さんの仕事に似ています

家を建てる時のプロセス



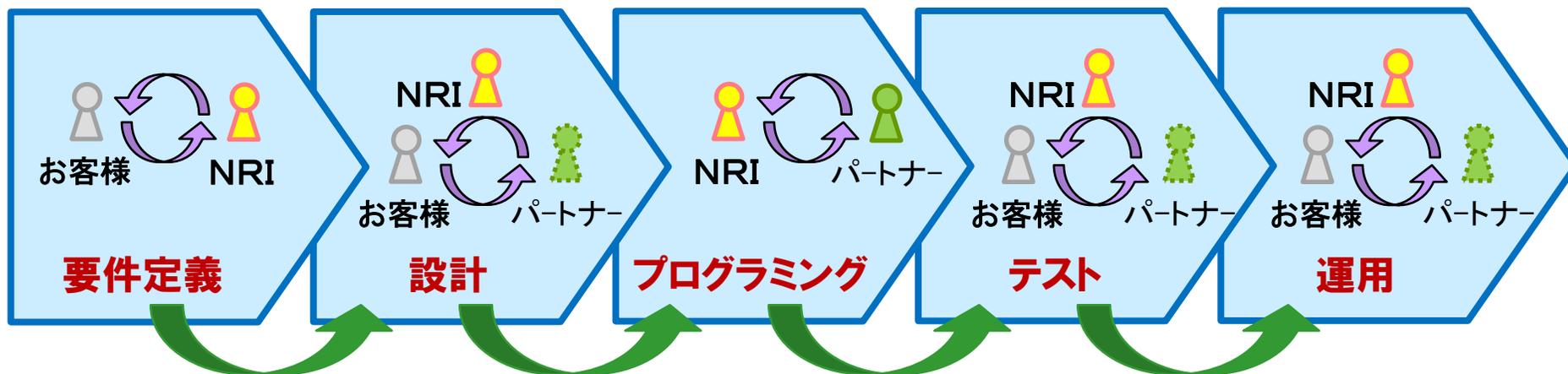
情報システム開発のプロセス



4-4.私の仕事

情報システム開発を支える人々

- 何十人、何百人の人たちが関わって、ひとつの情報システムをつくり上げます
- システム開発の各工程では、関係者のお互いが思っていることを一致させるコミュニケーションがとても重要です
- SEには、情報技術(IT)に詳しいだけでなく、お客様の仕事についても熟知していなければならない、また、コミュニケーションの達人でなければなりません



4-4. 私の仕事 仕事の厳しさ、楽しさ、魅力

厳

品質へのこだわり。簡単には妥協しない

厳

最後までやりぬく

楽

いろいろ考えて、実際にモノができれば嬉しい

楽

お客さんに、「ありがとう」と言われたとき

魅

お客様や社会の役にたつ仕事ができる

魅

やりがいのある仕事

4-5.フォローアップ

- **担当者のモチベーションアップ、今後の協力者促進のために「出前授業」を取
材し、社内報で情報発信する**
 - ・講義中の写真、講義した感想の紹介
 - ・参加した学校、生徒からのお礼状の紹介
など
- **「出前授業」での講師経験者を集めた座談会を実施し、その様子や意見を
社内報での情報発信する**
 - ・出前授業は自身の成長の機会になる
 - ・分かりやすい講義にするために工夫した点
など



出前授業



高校生から届いたお礼状



「出前授業」の講師経験者を集めた座談会

4-5.フォローアップ

出前授業をした感想(座談会での意見より)

- 私は入社年次が浅く、普段は多くの人前で話す機会が少ないので、今回はとてもいい経験でした。
- 生徒たちの役にたてる、日本の未来のための役にたてる、NRIのために役にたてるという思いで引き受けさせていただきました。
- 高校生に分かりやすく理解してもらえよう分かりやすく伝えることは、コミュニケーションのやり方を見直し、柔軟性を高め、ものの見方を広げる機会にもなると思います。
- いろいろな気づきがありプラスになると思います。入社5～6年したら、一度は体験してみるとよいと思います。SEやPMを育成するためのプロセスになると思う。
- 人づくり支援に参加することで、社内・外で新たな出会いが生まれ「自分づくり」につながっていると思います。

5.学生小論文コンテスト2009

●学生小論文コンテスト2009では、「大学生の部」、「留学生の部」での募集テーマを「ITを活用した日本発ビジネス」として実施

《大学生の部》 大賞

高齢社会日本における新たなビジネスモデルの可能性

～在宅介護サービスのITネットワーク化による新たな社会モデルの創造～

鬼沢 啓さん(法政大学キャリアデザイン学部3年)

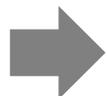
《留学生の部》 優秀賞(大賞該当なし)

ITが創り出す明日の医療

～赤字の公共福祉から未来のリーディング産業へ～

汪 斯匯さん(東京大学大学院工学系研究科 修士課程1年)

※詳しくは、<http://www.nri.co.jp/publicity/contest/results2009/>



反省点:この年の大学生・留学生の部の応募数が大きく減少する

分析:ITということで文系学生が、ビジネス提案ということで理系学生が応募を躊躇したと思われる

6.「教員の民間企業研修」の受入れ

- 財団法人 経済広報センターの要請を受けて、2006年より「教員の民間企業研修」の受入れ(3日間)を実施しています。毎年10名前後の教員(小・中・高・養護学校)の皆さんがNRIを研修先として希望され、ご参加いただいています

《提供している主な研修プログラム》

- ・社会インフラとしての情報システム
- ・情報セキュリティ管理への取り組み
- ・データセンター見学
- ・NRIグループ社員の人材育成
- ・チームの組織力強化ワークショップ
- ・インターネット検索による情報収集など



- ・情報サービス産業に対する理解の促進
- ・研修成果を教育の現場で活用(⇒理解促進の拡大)



情報セキュリティ管理に関する研修